

福島第二原子力発電所3号機 原子炉内構造物の点検の開始について

【参考資料】
2015年7月9日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

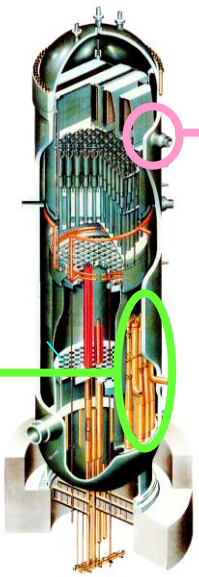
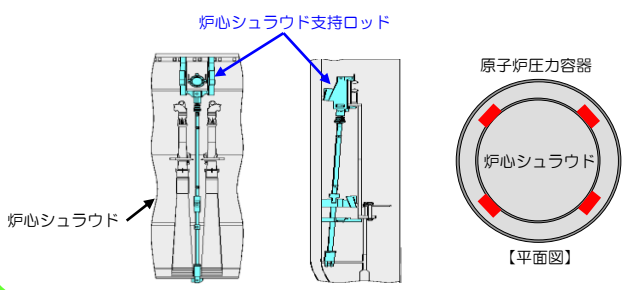
当所3号機において、東北地方太平洋沖地震による影響に関する知見の拡充等を目的とした原子炉内構造物の目視点検を7月10日より実施します。

1. 点検対象機器 ～以下の原子炉内構造物について目視点検を行います～

①炉心シュラウド支持ロッド（4箇所）

炉心シュラウドを上下方向に挟み込み、締付け固定する支柱。

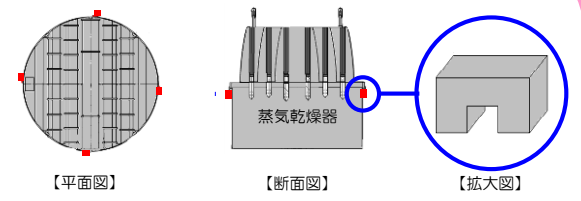
※ 炉心シュラウド支持ロッドは、応力腐食割れ対策として、2・3号機に設置。



【原子炉压力容器】

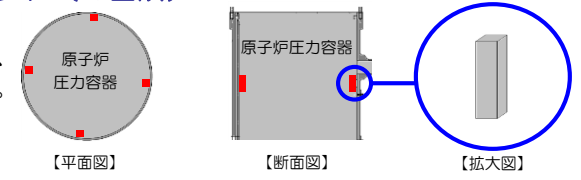
② 蒸気乾燥器耐震用ブロック（4箇所）

ステンレス鋼の凹型を逆さまにしたような部材で、蒸気乾燥器側面中央部に溶接され、蒸気乾燥器支持ブラケットの上に凹部をはめ込み、蒸気乾燥器を支持するためのもの。



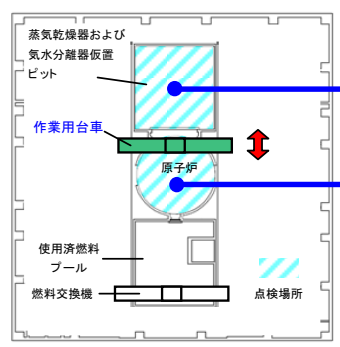
③ 蒸気乾燥器支持ブラケット（4箇所）

ステンレス鋼の板で、原子炉压力容器内壁に溶接され、蒸気乾燥器を支持するもの。



* 上記機器は、4号機の原子炉内点検時に蒸気乾燥器支持ブラケット上部に蒸気乾燥器耐震用ブロックとの接触によるものと推定される軽微な損傷（割れ）が確認されたことから(2012年12月5日お知らせ済み)、その水平展開として点検するものです。

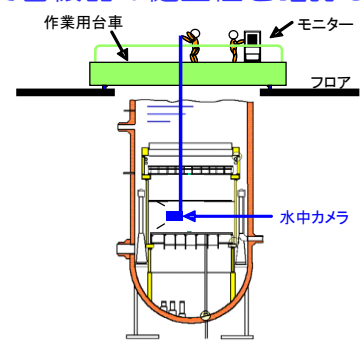
2. 点検方法 ～作業用台車の上から水中カメラを下ろし、モニター映像で各機器の健全性を確認します～



【平面図(原子炉建屋6階)】

【蒸気乾燥器および気水分離器仮置ピット】
② 蒸気乾燥器耐震用ブロック

【原子炉内】
① 炉心シュラウド支持ロッド
③ 蒸気乾燥器支持ブラケット



【原子炉における点検作業のイメージ】



写真は1号機で行われた炉内構造物点検時の様子(2014年8月7日撮影)

福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は引き続き安定した燃料の冷却を継続してまいります。